



「水産業のさかなな地域」

吹田市立青山台小学校

★単元目標

- 水産業が自然条件を生かして営まれていることや、その生産に関わる人々の工夫や努力によって支えられていることを理解するとともに、地図帳や統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技術を身に付けるようにする。【知識・技能】
- 水産業に関わる人々の働きを多角的に考える力、水産業に関わる課題を把握して、これからの水産業の発展について考える力、考えたことを説明する力を養う。【思考・判断・表現】
- 我が国の水産業について、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、社会の一員として、これからの水産業の発展について考えようとする態度を養う。【学びに向かう力】

育みたい情報活用能力

水産業の現状について必要な情報を精査して、友だちと意見を共有する中で、
自分の考えを深めまとめる能力

本時の目標

5-1 さんまが漁港から消費者のもとに届くまでの様子に着目して、流通や輸送のはたらきと、それに関わる人たちの工夫や努力を捉える。

5-2 自然条件を生かしたぶりの養殖に着目して、品質や安全性の高い魚を安定して出荷するための工夫や努力を捉える。

実態からわかること

- ・ 資料（グラフ、図、表など）から必要な情報を適切に読み取る力をさらに育てる必要がある。
- ・ 読み取った情報を整理し、自分なりに分かりやすくまとめる方法を身に付けることが求められる。
- ・ 調べた内容に対して、自分の考えをもち、それを表現する力を伸ばすことが課題である。
- ・ 情報を共有することで自分の気が付かなかった点に気づき、自分の意見を再構築することができない。

子どもの実態

① 資料（グラフ、図、表など）から必要な情報を読み取れなかったり、読み取った情報を並べるだけになったりする児童が多くいる。また自分の考えと調べた内容の区別が曖昧になりがちである。

② タブレットやインターネット検索には慣れてきており、情報収集に対する意欲は高いが、インターネット上の情報をそのまま正しいと信じてしまう傾向が見られ、情報元を気にしていない。

③ 調べた内容を自分の考えと結び付けて表現する力も十分とはいえない。
④ 友だちの意見と自分の意見を比較することで、考えを深めることが難しい。

★使用するツールやコンテンツ等

- ・教科書：小学社会 5 年(教育出版) 【情報収集】
- ・MetaMoJi Classroom3 【整理分析】【まとめ・ふりかえり】
- ・iPad の時計(ストップウォッチ機能) 【情報収集】

★単元計画（全 10 時間）

	学習内容	主な評価規準【観点】
第 1・2 時	エージェンシート作る。 学習問題に対して、予想したり調べる計画を立てたりする。	学習課題に沿って、自分自身の学習計画を立てようとしている【学びに向かう力】 思考ツールを活用して情報を整理し、さんま漁について分かりやすくまとめている。 【思考・判断・表現】
第 3 時	北海道の・根室のさんま漁の様子に着目して、漁師さんたちの工夫を捉える。 Mission:さんまの秘密を探れ！	思考ツールを活用して情報を整理し、さんまの出荷に関わる人たちの工夫について分かりやすくまとめている。【思考・判断・表現】
第 4 時	漁港でのさんまの出荷に関わる人たちの品質を高める工夫や値段と費用の関係を捉える。 Mission:卸売市場で何が行われているか調査せよ！	思考ツールを活用して情報を整理し、さんまの出荷に関わる人たちの工夫について分かりやすくまとめている。【思考・判断・表現】
第 5 時 本時 5-1	さんまが漁港から消費者のもとに届くまでの様子に着目して、流通や輸送のはたらきと、それに関わる人たちの工夫や努力を捉える。 Mission:魚の消費期限早すぎ問題を調査せよ！	思考ツールを活用して情報を整理し、流通や輸送のはたらきについて分かりやすくまとめている。【思考・判断・表現】
第 6 時 本時 5-2	自然条件を生かしたぶりの養殖の様子に着目して、品質や安全性の高い魚を安定して出荷するための工夫や努力を捉える。 Mission:養殖ぶりと天然ぶり、買うならどっち？	思考ツールを活用して情報を整理し、ぶりの養殖について分かりやすくまとめている。 【思考・判断・表現】
第 7 時	水産業を取り巻く変化に着目し、日本の水産業の課題について捉える。 Mission:今、日本の魚の危機！？何が起きているのか調査せよ！	思考ツールを活用して情報を整理し、日本の水産業の課題について分かりやすくまとめている。【思考・判断・表現】
第 8 時	持続可能な水産業を目指す取り組みに着目して、日本はもちろん世界の国々でさまざまな取り組みが行われていることを捉える。 Mission:魚を守れ！世界の取り組みを調査せよ！	思考ツールを活用して情報を整理し、持続可能な水産業を目指す取り組みについて分かりやすくまとめている。【思考・判断・表現】
第 9 時	水産業に関わる人々の工夫や努力についてまとめる。	これまで学習したことを整理し、分かりやすくまとめ、これからの水産業について考えようとしている。【思考・判断・表現】
第 10 時	まとめたものと自分の考えを発表、共有する。	まとめた内容と自分の意見を根拠をもって発表し、他者の意見との共通点を比較して考察しようとしている。【学びに向かう力】

※主体的に学習に取り組み、自らの学習を調整しながら学び続けようとしている。【学びに向かう力】

★本時の展開 5 - I (5/10 時間)

学習の流れ	主な学習活動と内容（子どもの反応）	支援や情報活用のポイント ☆：情報活用能力のポイント
導入(5分)	・ 前時までにとまとめた、漁港について学習したことを振り返る。 ○水産物の状態や水揚げ量を見てせりが行われる ○新鮮さが大事 ○衛生面に最も気をつかう ・ 魚の消費期限クイズを行う。	MetaMoJi Classroom3
展開 (30分)	・ 今日の Mission を提示する Mission:魚の消費期限早すぎ問題を調査せよ！ ・ 漁港から店までの運搬について、エージェンシー（紙）を見ながら課題と解決策、学習計画を見て今日の学習を確認する。 ○③解決策と⑤課題を解決した後の力の③をうめる。 ・ グループで、時間配分を考え、作業を開始する。 ・ 教科書を読み、キーワードに線を引く。 ・ 自分で選んだ思考ツールを使って、メタモジやノートにとまとめる。 ○魚を届けるまでの時間やポイントを見つける。 ○輸送手段と距離、または水あげ量と費用についての関係を考える。 「フェリーは長い距離で燃料代を抑えられる」 「急ぐときは航空機を使う」 「水あげ量が少なく価格が高いと空輸を使う」 ・ Mission の解答を班でまとめる。	教科書：小学社会 5 （教育出版） 【情報収集】 MetaMoJi Classroom3 【整理分析】 ↓おさえておきたいポイント 温度を一定に保つ 決められた時間までに確実に届ける 輸送コスト、輸送時間、環境についても考える インターネット、本、資料 教科書 【情報収集】 出典元を書くことを確認する。 MetaMoJi Classroom3 【整理分析】
まとめ (10分)	・ 班ごとに発表をして、板書でまとめる。 ふりかえりをする。	【まとめ・ふりかえり】 MetaMoJi Classroom3 【整理分析】

学習の流れ	主な学習活動と内容（子どもの反応）	支援や情報活用のポイント ☆：情報活用能力のポイント
導入(5分)	・ 前時までにとまとめた、さんま漁について学習したことを振り返る。 ○ 漁船で漁に出る。（とる漁業） ○ さんまの習性を生かして、漁をする。 ○ 水揚げ量によって値段が変わる。 ○ 季節によって多くとれる水産物が変わる。 ○ 新鮮さを保つための工夫がたくさんある。	MetaMoJi Classroom3
展開 (30分)	今日の Mission を提示する。 Mission：養殖ぶりと天然ぶり、買うならどっち？ ・ とる漁業だけでなく、育てる漁業（養殖業）について、エージェンシートを見ながら課題と解決策、学習計画を見て今日の学習を確認する。 ○ ③解決策と⑤課題を解決した後の力の④を確認する。 ・ 時間配分を考え、作業を開始する。 （一人で、ペアで、グループで） ・ 教科書を読み、キーワードに線を引く。 ・ 自分で選んだ思考ツールを使って、メタモジやノートにとまとめる。 ○ 育てる漁業のために必要な設備を見つける。 ○ 育てる漁業ととる漁業の似ている点、ちがう点 ○ そのほかの魚の養殖について など ・ とまとめたことをグループで伝え合い、Mission を班でまとめる	教科書：小学社会 5 （教育出版） 【情報収集】 MetaMoJi Classroom3 【整理分析】 おさえておきたいポイント 年間を通じて、計画的にぶりを育てている ぶりの大きさや動きの活発さを見て、安全性の高いえさを与えている とる漁業と育てる漁業の似ている点、違う点についても考える インターネット、本、資料 教科書 【情報収集】 出典元を書くことを確認する。 MetaMoJi Classroom3 【整理分析】
まとめ (10分)	班ごとに発表して、板書でまとめる。 ふりかえりをする。	【まとめ・ふりかえり】 MetaMoJi Classroom3 【整理分析】